インターネットがすべてを変えた：CIA はどうすることもできない（上）

奇跡のインターネット：深層国家は崩壊、CIA は牙を抜かれ、影の政府の敗北は不可避

【訳者注】主流メディアに対する、インターネット代替メディアの効果は、おそらくボディブローであって、一発ノックダウンということはない。しかし、その効果は、ここで言われているように確実で、その信用度は確実に逆転しているだろう。最近の新聞は、世界情勢についてはほとんど書かず、自国ニュースと反露記事だけの新聞になっている。（参考：http://www.dcsociety.org/2012/info2012/160815.pdf）“グローバル”という言葉が最も飛び交うこの時期に、主流メディアはその役割を放棄せざるをえなくなった。ある時期がくれば、黙り込むよりほかなくなることは予想できた。

この論文で展開されている、我々の惑星は実は太古の昔から、悪いものに支配されているという、Prison Planet（牢獄惑星）の観点は、目を開かせる。これは、1947 年に米ニューメキシコ州ロズウエルで起こった宇宙船墜落事件の、生き残った宇宙人が、これを地球人に伝えるために、やってきたのだと言ったという話を、読んだことがある。自分は自由だと思っていたが、実は操作されていたかもしれない、と考えてみることは今、重要である。

State of the Nation (SOTN), Cosmic Convergence Research Group
December 2, 2017

この時点から先は、影の政府を倒すことは、処分手続きの問題に過ぎない

「権力者が自分たちのために、そして自分たちの間違った目的のために、インターネットを創ったとき、彼らは巨大な間違いを犯した。彼らはそれを、究極の大量騙し兵器として考え、地球圏を完全にコントロールする手段と考えた――確かにその通りだ。しかし彼らはそれが、自分たちに反対する者たちによって、どの程度使われるか予測ができなかった。試しに、“ロスチャイルド”を、Google で検索してみるとよい。いかに彼らの名前が今、過去現在を問わず、この世のあらゆる不正な努力に、結び付けられているかを見出すであろう。ロックフェラーについても同じ。ブッシュ、クリントン、オバマ、ソロス、キッシンジャー、などみな同じだ。この運命の逆転だけでも、彼らの New World Order アジェンダにとって、大きな逆風となっている。“小鬼がビンから飛び出し”、再び元へ戻すことができなくなった！　そしてその小鬼は、真実の鋭い剣と、正義の復讐をもって、支配者エリートの方へまともに向かって来つつある。」――**長い経験をもつ、ある政治アナリスト・調査報道記者**

何が本当に起こっているのか

1980 年代の後半の World Wide Web の出現と、特に 1995 年のインターネットとともに、すべては変わった。

世界全体がディジタルにつながり、あらゆる場所の人々が多種多様な方法で連結することができる。

このきわめて画期的な展開は、あらゆる人々が瞬時に、“グローバルな情報データベース”にアクセスすることを可能にした。

ひとたび、この決定的な進歩の段階を通り過ぎると、特権的な情報や敏感なデータを、これまで考えられなかったほどに共有することが、本気で始まった。

キーポイント：このたった一つの情報共有力学が、人々が自分自身の放射能的真実を拡散する、無限の機会を創り出した。

これらの真実の中には、どこであろうと腐敗した政府を倒すことができ、グローバルな規模で行われた、何世紀にも及ぶ犯罪的陰謀を暴くことができるものが、含まれている。

インターネットと“グローバル・コントロール・マトリックス”

インターネット以前には、地球規模の支配者にとって、情報/データをロックダウンすることは非常に簡単だった。権力者はこれを何千年もの間、たやすく行い、見事に成功させてきた。インターネットが全力で走り出して以来、それは現実的に不可能になった。

たとえ、人工知能テクノロジー装置で四六時中監視していても、“極秘”情報の暴露や流れをコントロールする努力は、完全に無効になった。

現在、ロシアが彼ら独自のインターネットを建設中なので、真実を www によって検閲しようとするすべての試みは、失敗する運命にある。これは、我々が知っているようなインターネットの、終わりの始まりである。http://themillenniumreport.com/2017/11/this-is-the-beginning-of-the-end-of-the-internet-as-we-know-it/

我々は、インターネットに支配され、コントロールされた情報時代に生きているので、情報は力である。したがって、誰でも、グローバルな情報処理装置をコントロールする者は、この惑星をコントロールする――ある程度まで。

しかし、“グローバル・コントロール・マトリックス”は、もはや管理できない。なぜならインターネットは、もしマイクロ管理したり検閲したりすると、それは大きな反動となって返ってくるからである。インターネットが、いかに人生のあらゆる相、特に経済において相互浸透するかを考えるなら、それは恐ろしく大きな反動を伴わずには、シャットダウンすることはできない。たとえ深層国家が、インターネットのコントロールを完全に掴んだとしても、彼らは完全なロックダウンの追跡には失敗するだろう。CIA、NSA、DIA、FBI、それに DHS がすでに、Google、Facebook、Twitter、その他を使って、24 時間毎日、彼らのビッグ・ブラザー体制を押し付けようとしている。にもかかわらず、彼らは常に、本質的に達成不可能な目標を達成するには、程遠い状態にある。

インターネットの力、人民の力を利用せよ

人民の力

一日一日が過ぎるごとに、ますます多くの人々が、権力エリートの要員たちによって、絶えずプログラムされてきた、つくられた、偽りの現実に目覚めていく。

ますます多くの人々が、現在、コントロール・マトリックス――文字通り、リアルタイムで崩壊しつつあるマトリックス――から解放されている。

インターネットのおかげで、特にディジタルに結合した人々が、これまで以上に真実にアクセスをもっている――特に、どこに見つかるかを知っているならば。

突然、現れた真実に目を開かれると、どんな人間でも自然に、世界に――自分の家族や共同体の内部に――自分の新しい姿を現すものだ。

人々に不可避的に伝わっていく、この新しく見出された力は、とどまることができない。それは妨害されるかもしれず、一時的に間違った方向をとるかもしれない。しかし、ひとたびそこに入ったら、引き抜くことはできない。ひとたび真理を手に入れた人々は、解放されて迷うことはない。

何から解放されるのか？

地球は何千年もの間、牢獄惑星として存在してきた。

この牢獄の格子は、嘘と虚偽によってできている。そのコンクリートの壁は、欺瞞と二枚舌と不正直によってできている。有刺鉄線は、言い逃れ、ごまかし、捻じ曲げ、曲がった説明でできている。監視塔は、常にどちらの方向へも、間違い情報、にせ情報、反対情報を発している。牢獄の管理人は、多様な、大量騙し兵器を使う名手である。看守はあらゆる場面で、二重取引や知らぬふりを行っている。

しかし、インターネットは有益な環境を養育してきた。これによって、世界中の真実を求める人々は、彼らの知的な牢獄からたやすく脱出している。

いま、地球上の住民が、多くの間違ったパラダイムから解放されるようになって、彼らは真実を求める自由を得た。

実際、インターネットは、彼らが事実や真実を求めて赴く、どんな方向へも、自由に導いている。（上、ここまで）